

～ 前期職業体験週間 ～

1年生 前期職業体験週間

1年生は、校内での実習に取り組みました。校内ではありますが「会社」を想定し、あいさつや返事、声の大きさや言葉のかけ方等について意識をして取り組みました。最初は慣れない作業や立ち作業に、とまどいや疲労も見られましたが、時間が経過するとともに作業速度や正確性が上がりました。そして最終日には大きく成長し、自信をつけた表情が多く見られました。



2年生 前期職業体験週間 現場実習

2年生は、全部で39の事業所で実習を行いました。どの生徒も緊張感を持ちながら、それぞれの場所で自分の目標に向かってがんばっていました。少しずつ場所や人に慣れ、それぞれが自分の力を発揮して、実習を終えることができました。実習でできたこと、できなかったことを忘れず、これからの学校生活に活かせるよう意識して過ごしましょう。



3年生 前期職業体験週間 現場実習

今回の実習では、今までの実習や学校で勉強してきたことを活かして実習することができた人、頑張ったけれども納得できる実習にならなかった人・・・など、それぞれの実習先でみんな精一杯頑張ったと思います。実習先も真剣です。将来、自分の会社で雇用しても大丈夫なのかどうか、仕事をしていく上で何が課題なのかなどを見極めてもらい、実習後の反省会で貴重な意見をいただきました。

今回で全員が同じ時期に行く実習は終了しました。これからは、卒業後の進路に向けてそれぞれが実習先の日程に合わせて実習していきます。夏休中に実習にいった人もいます。自分の将来を考えて、働き続けられる場所をしっかりと見つけてほしいと思います。



～ 企業見学（1年生）～

校内実習期間の6月6・7・8日に、2クラスずつ分散で企業見学に行きました。午前中はJR西日本あいウィル、午後は伊丹市の国立県営兵庫障害者職業能力開発校を見学しました。

JR西日本あいウィルでは、会社概要や仕事内容の説明を受けた後に、会社内の見学をさせていただきました。少し離れたところにある被服管理センターも見学させていただき、JR西日本で使われているたくさんの種類の制服をどのように管理しているのか学ぶことができました。午後の訓練校では、映像を使って訓練校についての説明や学校内見学などが中心でした。実際に訓練生が授業を受けている様子も見学させていただきました。

障害者職業訓練校は、入学するための試験があります。訓練期間は原則1年間です。訓練期間中に就職できた場合、1年に満たずに訓練を終了する訓練校もあります。授業料は無料で、訓練手当が出ます。

国立県営兵庫障害者職業能力開発校（伊丹の訓練校）総合実務科

場所…伊丹市東有岡 4-8（JR伊丹駅徒歩約10分）

定員15名

訓練期間中に就職できた場合、1年に満たずに、訓練を終了する場合があります。

ビジネスマナーの習得や、各種の作業・実習をなどにより職業適性を引き出し、多様な分野での就労を目指します。

【学ぶ内容の一例】

国語、算数、生活基礎教養全般、マナー、モラル、ルール、5Sに関する演習（5S：整理、整頓、清掃、清潔、躰）、ソーシャル・スキル・トレーニング、履歴書の書き方、面接の受け方、販売管理実習、環境整備実習、介護実習、紙器加工実習、事務補助作業実習、パソコン、園芸実習、陶芸実習、体育、職場体験実習など

<出典：国立県営兵庫障害者職業能力開発校あんない>



～ 職業相談会（3年生）～

6月21日（水）～6月23日（金）に地域別のハローワークとの第一次職業相談会が学校でありました。ハローワークと就労・生活支援センターとの面談を行い、就職希望、意欲、態度などについて話をしました。8月18～22日の3日間は各地域のハローワークに保護者と本人で直接出向いてもらい、第二次職業相談会がありました。第一次職業相談会で言われた課題についての取り組みや、今後の進路について相談を行いました。

